

第6回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 会議録

会議名	第6回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会会議
日時	令和6年8月20日（火）13時30分～16時30分
場所	橋本市教育文化会館3階 第3研修室
出席者 （敬称略）	堀内 秀雄 乾 幸八 前田 陽一郎 田村 亜美 森田 知世子 井西 三知子 玉井 勝代 岩澤 晃臣 岸田 昌章 芝 一與 戸島 浩子 中谷 維志 東 美樹 福澤 稔 向 律子 【出席委員：15名】
欠席者 （敬称略）	平家 利也 佐藤 陽子 小原 秀紀 今田 実 平田 敬二 【欠席委員：5名】
事務局	地域振興室長 前川 朋久 地域振興室主査 上原 慎太郎 地域振興室主査 今山 知紀
次第	1. 開会 2. 報告 ① 地域運営組織 資料1 地域運営組織スケジュール（案） ② はしもとプラチカ 資料2 はしもとプラチカの活動経過 ③ 橋っ子祭り配布用チラシ 資料3 橋っ子祭り配布用チラシ（案） 3. 議事 ① こどもパンフ 資料4 こどもパンフ（案） ② 職員研修 資料5 令和6年度職員研修実施要綱（案） ③ すこやか橋本まなびの日 資料6 2023委員振り返りアンケート（抜粋） 資料7 まなびの日事業計画書（案） 資料8 2023ブース内容&レイアウト

次 第	④ 各グループにおける提言書用活動概要骨子 資料9 各グループからの骨子（案） 4. その他 ① 次回会議日程 5. 閉会
-----	---

1. 開会

- 委員20名中15名出席により、委員会が成立していることを報告。
- 傍聴者2名。
- 議事録署名人は井西三知子委員、中谷維志委員。

2. 報告

① 地域運営組織

はぐくむ条例第10条記載の地域運営組織のスケジュール等について、事務局から資料を基に説明し、今後も継続して委員会へ情報共有を図ることを確認した。

○ 報告内容

- 地域運営組織検討懇話会は地域運営組織の方針決定及び設立の推進にあたり、関係者から意見を聴取するため設置している。
- 地域運営組織準備会の設立に向け、地域の現状や将来像を話し合うタウンミーティングを隅田・高野口の2地区で9月に実施する。（予定）
- 準備会は地域運営組織の前段組織である。令和6年度は隅田地区と高野口地区をモデル地区とする。
- 地域まちづくり計画は地区の設計図のようなもので、地区のポテンシャル（特徴・や財産など）を基に将来像を話し合ったことをまとめたものである。

○ 委員長意見

- 地域運営組織の立ち上げに関して完了の目標年度はあるのか。
 - 現時点での目標は令和10年度となっている。（予定）

○ 委員意見

- 今回の地域まちづくり計画と新市まちづくり計画は別物か。
 - 地域まちづくり計画は地域運営組織規則に定められた、これから作成していくものであり、既存の新市まちづくり計画とは別物である。

② はしもとプラチカ

前回会議以降の内容を中心に進捗状況について東委員より報告した。

○ 報告内容

- 5月25日の第1回みんなでチャレンジは20代～40代の18名が参加。アンケートでは立場や世代の異なる方とのいい交流の場となったと意見あり。
- 7月6日の第2回みんなでチャレンジは63名が参加し、ライブQによる質疑や事後交流会も実施した。
- その他、フードトラックフェスティバルにおけるプラチカの周知、サマーボールへのボランティア参加、情報発信、まなびの日当日の役割について説明した。

○ 委員長意見

- 今後の協働の広がりや起爆剤として、プラチカの活動に対して人員補助の募集をかけてもいいのではないかと。

○ 委員意見

- 社会福祉協議会内の橋本市ボランティアサークル連絡協議会の理事がプラチカの活動を全く知らなかったため、来年度以降、そちらへの情報共有もお願いしたい。

③ 橋っ子祭り配布用チラシ

9月22日に実施される「みんなあつまれ！橋っ子祭り」の参加対象となっている市内小学生・中学生に対して、はぐくむ委員会を知ってもらうきっかけとなるチラシを配布する。

はぐくむ委員会として作成するものであるため、最終案について東委員より報告し、今後は作成担当委員と事務局で調整を進めることで承認された。

○ 報告内容

- 1枚目は自治や協働について早い段階で知ってもらい、まちが良くなるように自分にできることをしてみようということを書いている。
- 2枚目はイベントや名所、まちづくりのきっかけをすごろくで楽しみながら知ってもらうものとなっている。地域を知ること・地域活動に参加すること・挨拶をすることもまちづくりに繋がることを知ってもらえればと思う。

○ 委員長意見

- 印刷サイズはA4ではなくA3の方が迫力もあり、わかりやすいのではないかと。

○ 委員意見

- このすごろくの配置は実際の位置関係は考慮されていないのか。
 - 今回は春夏秋冬編と位置づけ、一部デフォルメしている。
 - 今後、地域別や学校区別で作成する方向で検討している。

- 事務局より確認
 - 配布方法については、事務局と生涯学習課との調整で進めていいか。
 - チラシ担当委員と事務局で進め、配布方法は手渡しを原則とする。

3. 議事

① こどもパンフ

市民参画グループによる小学校5・6年生を対象に「協働についての意識づけとまちづくりについて考えてもらう機会の提供」を目的としたこどもパンフについて、現在の進捗と今後のスケジュールを戸島委員より説明。今後の作業とスケジュールについては検討チーム一任となった。

はぐくむ委員会でのこどもパンフ（案）の配布は初めてである。

○ 報告内容

- 現在の対応としては、漢字への振り仮名をつけて、地区別としていた少子化率・高齢化率を小学校区に変更した。
- 現在の案を学校教育課に確認依頼した内容について説明。
- 今後の予定では、こどもパンフ検討チーム会議を9月～10月の間で数回開催し、学校教育課の意見を反映するよう協議する。10月中のパンフ完成を目指す。

○ 委員長意見

- なぜ5、6年生を対象としているのか。
 - 3、4年生は「社会」と「理科」に分かれるが「政治」は習っておらず、中学生からでは遅いので、「政治」を学び始める5、6年生向けとしている。
- スケジュール上、付録版の作成も含めて令和7年3月までの完成を目指してほしい。
- 橋本市と同規模の先進事例を調査すべきではないか。
 - チームで作り始める際に他の自治体におけるパンフを参考にしている。
- 教育長にも事務局を通じてしっかりと情報共有をしておくこと。

② 職員研修

7月に2回開催した職員研修検討チームの会議内容を踏まえた令和6年度実施要綱案について、昨年度からの主な修正点を協働のまちづくりグループに代わり事務局が説明した。

○ 報告内容

- 冒頭の事務局からの挨拶を省略した。

- 事後アンケートで要望が多かった事例発表を市民・職員の双方で盛り込み、発表内容は事前に共有しておく。
- 対象職員を補佐級+1名から実務に精通している係長級+1名へ変更した。
- 昨年度の反省としてワークショップの議論を円滑にするために協議内容及び発表内容を事前に共有しておく。

○ 委員意見等

- なぜ事例発表に「アダプト制度」と「げんきらり～教室」を選んだのか。
 - 毎年実施している協働に関する職員アンケートにおいて、協働事例を問う質問があった。その解答から事務局がいくつかピックアップしたものを検討チームに提示して絞り込んでいる。
 - 今回はこの事例で実施し、改善を求める声があれば次回以降に検討する。

③ すこやか橋本まなびの日

事務局よりまなびの日の出展にあたり8月30日までに生涯学習課へ提出が必要な事業実施計画の内容について、昨年と同様の内容で良いか確認した。変更点は担当者の名前のみである。

○ 委員意見等

- 今年のはしもとプラチカもブースを出すため、そちらにも委員が割り振られることになるが運営に支障はでないか。
 - はぐくむサポーターやプラチカのみんなでチャレンジに参加して頂いている方へボランティアの声掛けを行い、その方達の手も借りながら運営していきたい。

○ 委員長意見

- 細かい点は今後設置する検討チームで調整してもらうことで、事業計画は変更せず提出すればよい。

④ 各グループにおける提言書用活動概要骨子

第3期委員における提言書の作成に向けて、各グループにおける活動概要の骨子を作成し、本委員会で共有した。内容は別紙資料のとおりで以下は補足説明である。

○ 報告内容

【市民参画グループ】

- 第2期提言書における第3期に向けた提言の①まなびの日は準備中。展示物への振り仮名を振ることやはぐくむサポーターに向けてボランティアの募集を行う。②こども用パンフは当初10月を目標としていたが、3月までの完成を目指して事務局と調整する。③サポーター交流会についてはまなびの日へのボランティア参加を通じて協働に触れてもらうことを考えている。

- ・課題はこどもの条例の認知度が低いことと、市職員の仕事の下請けではないかという意見が未だにあること。
- ・解決のための提案はこども用パンフレットの作成など、こどものころから協働を意識して自分の描くまちづくりを目指せる取り組みをすること。
- ・市民参画グループでは活用する媒体を広げること、今回は電子なので紙媒体まで広げることを検討する。

【協働のまちづくりグループ】

特になし

【情報共有グループ】

- ・橋本市公式 LINE については秘書広報課より情報提供いただき、登録人数の増減や配信内容を調べている。
- ・課題の解決策として市の公式 LINE 等による発信機能の充実とあるが、LINE は HP への入口であり HP の充実を図りたいと考えている。
- ・その他の意見として各グループで重複しているところの整理やはしもとプラチカに関する評価を加えたいという意見があった。

○委員長意見

- ・サポーター交流会については昨年の提言書にも記載したので、失敗をしてもいいから実施することが大事である。
- ・サポーターの位置づけは？
- ▷協働やボランティアに興味はあるが、参加はハードルが高く、情報だけほしい人がメインに登録されている。一部は政策企画課の政策モニター制度に登録していた方も統合されている。

4. その他

① 提言書の提出方法について

- ・第1回は提出のみ。第2回は市民への報告の場を設けたいとの考えから交流会を兼ねた提出を行った。この流れを尊重し、今年度も昨年と同様に市民が参加できる場での提出を検討する。

② 次回会議日程について

- ・11月19日（火）午前か28日（木）午後で調整する。
- ・場所は教育文化会館3-3

5. 閉会

以上